

令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立板橋有徳高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭（総務部主任）＝事務局長
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任）、生活指導主任、主幹教諭（進路指導主任）
主幹教諭（総務主任）、主幹教諭（1年次主任）、主幹教諭（2年次主任）、3年次主任
計10名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者(大学教授)、近隣中学校長、近隣小学校長、地域センター所長、板橋区教育委員会、
高島平警察署員、保護者代表 計7名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、内容、その他
 - 第1回 令和3年7月
協議委員委嘱、委員紹介、令和2年度学校経営報告・令和3年度学校経営計画
本校の教育活動、生徒の現状報告、分掌経営方針について（各分掌主任）
有徳通信（第1号、2号）配布
 - 第2回 令和3年11月
各分掌からの中間報告
学校評価アンケートの実施について内容検討
有徳通信（第3号、第4号）配布
 - 第3回 令和4年3月 書面開催
学校経営報告
各分掌からのまとめ
アンケート集計結果の分析・考察課題の整理
学校運営連絡協議会の評価アンケート
有徳通信（第5号、6号）配布
- (2) 評価委員会の開催日時、内容、その他
 - 第1回 令和3年7月
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和2年11月
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
令和4年1月から令和4年年2月

	対 象	回 収	回収率
全校生徒	596名	531名	89%
保護者全員	596名	354名	59%
地域・住民	20名	10名	50%
教職員	43名	43名	100%
- (3) 主な評価項目
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備
・ライフ・ワーク・バランスの推進
- (4) 評価結果の概要

全体的に、概ね良好な評価を受けている。「入学してよかった」と思っている生徒は、78%、
「入学させてよかった」と思っている保護者は、93%である。授業については、80%の生徒がよい
評価をしている。生活指導については、本校の校則を理解しているが、厳しいと思っている生徒は59%、
保護者は、本校の生活指導について88%が満足している。部活動については、生徒の51%、

保護者は、45%が活発ではないと思っている。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・保護者及び地域からの本校に対する期待の把握
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
 - ・教員の共通認識の徹底
 - ・感染症対策を踏まえて工夫し、地域、中学校への学校情報の発信
 - ・本校の特色を明確にする。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- (1) 学校運営
 - ・生徒・保護者に対して、あらゆる機会を通じ教育方針を説明し理解を得る。本校の良さをPRするために、広報活動をより充実させる。特に地域の中学生やその保護者に対してPRが必要である。
 - ・計画的な校内研修会を実施し、教職員の意思統一と共通理解を図る。
- (2) 学習指導
 - ・生徒に対して、本校の特色ある教育課程、習熟度展開、到達度目標別展開授業の目指す到達度について周知し、生徒たちに効果的な動機付けとし、学習活動に結び付ける。
- (3) 特別活動
 - ・今年度は実施できなかったが、運動部の生徒による交通安全運動の協力や地域や近隣の商業施設で演奏やダンス発表等を可能な範囲で実施し、部活動の活性化と地域との連携を図る。
- (4) 生活指導
 - ・次年度も継続して本校の生活指導の在り方を生徒たちに伝え、遅刻指導、身だしなみ指導や交通ルールの指導をしていく。
 - ・SNS等に対する指導を外部と連携し、指導を徹底していく。
- (5) 進路指導
 - ・総合の時間を有効に使い、生徒の適正に合わせた進路指導を実施する。
 - ・進路検討会や進路アドバイザーを活用した生徒の進路実現を図る。
- (6) 健康・安全
 - ・あらゆる機会を通じて、保護者との連携を心がけ、相談体制を築いていく。次年度は、いじめ・体罰対策をも含め、生徒指導部、学年、保健室及び保護者との適切な支援が図られるような体制を確立する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 7人
- (2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	1	1	0	0	0	1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

感染症予防の観点から、職員会議及び企画調整会議への参加については実施しなかった。

8 その他

評価精度の更なる向上のため、今後も感染症対策を踏まえながら、学校公開の機会を増やしていく。